

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

超訳 ニーチェ

著者名	フリードリッヒ・ニーチェ	発行年	2010年
出版社名	ディスカヴァー・トゥエンティワン	ページ数	232ページ
値段	1,785円	ISBN	978-4887597860
コメント	ページからページへ、哲人の遺した232のメッセージを旅するうちにどこかで「ヤラレタ」とうならされる言葉に出会えるはずで、きっと。 ヤマムロの「ヤラレタ」ポイントは40ページでした。ぐさり。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
river.i ☆☆☆☆	最近やる気でないとか意識低いなと思った時にふと読んでみるといいかもしれません。名言集みたいなものなので読み物って感じではなかったです。			
	全て	232P (60分)		2013/07/30 16:12:00
だんぼーる ☆☆	随分前に「ツアラトウストラはかく語りき」をうんうん唸りながら読んだのですが、あの時の負荷に比べるとなんか軽薄かな、と。 ニーチェを読むきっかけとしてはいいかもしれませんが、これだけ読んじやうとわかった気になるだけで終わっちゃうのかな、と。 いや、「ツアラトウストラ」を読んでも正直意味不明だったんですけどね…			
	斜め読み	232P (35分)		2013/07/28 22:18:02
zin ☆☆☆	根拠とかないからすらーっと流れる感じ。 抜粋だからかな。 これ全部できたら苦労しないわな。 当たり前って難しい。			
	全部	232P (180分)		2013/07/25 12:59:25
BBB ☆☆☆	26『満足が贅沢』を読み、すごく素直な気持ちになれました。このような気持ちを持つべきだとのどこかで思っているのに、世論に流され世間的な尺度で判断している自分に気がきました。 また31『楽しんで学ぶ』を読んで、学部時代のサークルの一個年上の先輩の言葉を思い出しました。当時しんどそうな顔をして練習する私を見て「もっと遊んだ方が良いよ。遊んでるやつの方がかっこ良いし、最終的に勝つのはそうゆうやつだよ。」この意見については例外の方がきっと多いと思います。でも、それでもその先輩が輝いて見えたのはいつまでも初心を忘れずに貪欲に吸収していたからなんだと改めて思いました。懐かしい笑			

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

	全部	232P (232分)		2013/07/21 13:46:24
massa ☆☆☆	適当にまとめたものなので、論理性もなく読んでいてもあまり納得させられなかった。とりあえず、ニーチェは24才で大学の教授だったらしい。			
	151-175	35P (10分)		2013/07/19 11:04:59
iksk ☆☆☆	「愛について」だけ読みました。 そういう考え方もあるんですね、ちょっと深く考えすぎていたかも笑			
	151-175	25P (20分)		2013/07/17 16:02:46
AM5:42 ☆☆☆☆	【偉人は変人かもしれない】 でも変人だったら偉人ということにはならないんだと思う。 ある意味、偉人って天性なのかもしれない……			
	100-120	20P (30分)	116	2013/07/16 17:18:47
rk ☆☆☆☆	「テクニク以前の問題」 文章技術や言葉を学んでも、理解力など、頭の中を改善できなければ説得力は持てない。 本当にそう思います。勉強します。			
	パッと開けたところをいくつか	20P (10分)	137ページ	2013/07/16 17:11:59
kabadie ☆☆	「疲れたと感じたら、考えない、言わない」がなんだか心に響いた。すぐ言うなあ、俺。			
	濫読	80P (60分)		2013/07/16 12:23:26
こだま ☆☆☆	乱読にはちょうどいい本だと思います。 思い付きで開いたページを読むとか。 読んで気に入ったのはありきたりだが、「勝つなら圧倒的に勝て」が心に残った			
	所々	80P (20分)		2013/07/15 14:28:18
フラン ☆☆☆	私が読んだ中で気に入ったものを立ち読みで挙げさせてもらいました。特に101番ですが、冒頭のニーチェに関しての言葉を受けて読むといいと思います。(別に泣けてもいいですが。) 1P 1Pで話が区切られるので、細々とした時間でも目を通しやすいと思います。全体的に私の考え方にマッチしていたのもあって、それなりに好印象。 ただほんの形式にまとめてしまったので、ランダムに言葉が出てこないのがなんとなく欠点。コンピュータの乱数で今日のニーチェとか出せると、より私好みなのですが、どうしてもこの辺りにこの内容があったはずとさがしてしまうので。 人生の肩の荷の重さを少し軽くしたいときにちよろっと読んでみる。そんな読み方をおすすめします。決して無くしちゃくれませんし、ニーチェの言葉でなくてもいいのですが、そんな雰囲気がいいと思います。			
	1-111	111P (40分)	71 101	2013/07/13 01:24:17
555 ☆☆☆	すごく気軽に読める本。特に前半の己についてと喜についての言葉が良かったです。でもそんなにこ心にずっしりと響いてくる、という感じはなかったような感じです。			

	全部	232P (80分)	2 5 番	2013/07/02 13:10:51
pinpon ☆☆☆	友達に対しては誠実に、敵に対しては勇気を持って、それ以外の人に対しては礼儀を持って接しよう。この言葉が印象に残りました。			
	全部	232P (120分)	人それぞれ	2013/07/01 16:38:47
じゃけん ☆☆☆	このような名言をまとめてしまった本は手軽に感銘を受けれるので、とても大好きなのですが、後に残らないような気がします。自分の気になった言葉をかいつまんで、深めていく方がよっぽどためになると思いました。 入門書として、ニーチェを読むきっかけをつくるための本でした。			
	べらべらと適当に	100P (100分)	特になし	2013/07/01 11:10:39
はまじ ☆☆☆☆	「喜び方がまだ足りない。」ニーチェの言葉の中で一番心に響きました。これに感銘を受け、良いことがあったら、もっと喜ぶことにしました。セブンイレブンの唐揚げ棒が揚げたてだったら喜んだり、ゼミが終わったら万歳したり、些細なことでも喜ぶようにしました。 喜ぶって気持ちがいいですね。どれかひとつのメッセージを真剣に受け取って、行動に移せば、この本で人生が変わると思います。			
	1-232	232P (120分)	25	2013/06/21 16:56:35
あきう ☆☆☆	がっつり全部読むよりは、落ち込んだときとかどうしようもないときに、適当にぱっと開いたページに書いてある言葉を読むのがいいかもしれない。 内容はグサッとくるのも多く、個人的には睡眠の重要性を話してるところが一番納得できました。			
	ばらばら	50P (30分)	3.4.54ページ	2013/05/21 11:57:46
万年筆 ☆☆☆	ぐさりぐさりと刺さるような言葉が多くて辛い読み物。名前が一人歩きしている感のあるニーチェのつかみの本としてはいいかもしれないです。			
	全部	232P (150分)		2013/05/19 22:43:04
はやぶさ ☆☆	とにかく読みやすい。けど、内容は・・・。原典を読んで、自分なりに解釈出来ると何かといいんだろうけど、超訳してしまうとなんともはや。自分でお金を出して買う本ではないと感じました。			
	ざっと	232P (60分)		2013/05/14 10:33:19
vecky ☆☆	こういう自己啓発的な本は、読んだその時は感動を覚えるのだが、時間が経つと何もかも忘れてしまうものです。 ニーチェを真にのみ取れているのかわかりませんが、ニーチェを全く知らない人には入門的な形でよいでしょう。			
	バラバラ	232P (15分)	特になし	2013/04/23 16:46:00
まほら ☆☆	正直大した言葉が書いてあるようには思えなくてニーチェの凄さがよく分からなかった。			
	適当に50ページくらい	50P (30分)		2013/04/09 17:16:04

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

動的平衡 1・2

著者名	福岡伸一	発行年	2009年
出版社名	木楽舎	ページ数	240ページ
値段	1,524円	ISBN	978-4863240124
コメント	いやもう、生物の話って、なんでこうもおもしろいんだろ、と夢中です。 生命は分子の淀み。なんてユニークで魅力的な世界観。クセになりそう。一話完結型で、つまみぐいしやすいのも、うれしい。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
river.i ☆☆☆☆	専門書と思わずに読んでみると意外とやさしいので生物系じゃない人に読んでもらいたい一冊です。 生物系からすると少し物足りない気もします。(結構知ってた。) あと図があったほうがもっとわかりやすくていいと思いました。 でもわりと最新の生物がやさしくわかるいい本です。			
	全て	240P (120分)		2013/07/30 16:20:46
PON ☆☆☆☆	解説が専門的になりすぎないで分かりやすい。 コラーゲンを食べても分解されてしまって効果がないというのは目から鱗だった。			
	1巻	254P (200分)		2013/07/22 10:24:38
こだま ☆☆☆	食べ物によって身体が作られるのだという至極あたりまえなことを再確認させてくれる一冊でした。 一人暮らしで料理は大変だけど自分の体は自分で作ろう！と決意しました。			
	1巻のみ	240P (120分)		2013/07/09 17:33:14
pinpon ☆☆	生物というよりも雑学の本			
	92-138	47P (30分)		2013/07/09 11:35:42
	語り口があっさりしているので読みやすかったです。			

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィール

掲示板

マルメロ ☆☆☆	もっと食べることを大切にしなければなと思いました。			
	1 (2. 3. 4章)	76P (30分)		2013/06/28 00:16:11
0120086144 ☆☆☆☆☆	目次から面白そうな章をピックアップして読んだ。「食べた物が自分を作る」という自分がいつも考えていることが後押しされていて嬉しかった。			
	上62-116	55P (30分)	2,3章	2013/05/28 13:10:24
いわし ☆☆☆☆	やっぱりどんな生産技術よりも生命の生産力はすばらしいと思った。日本全国のソメイヨシノが一本の木から育てられたというのが面白かった。			
	1-65	65P (40分)	52-55	2013/05/15 13:36:13
25 ☆☆☆☆	生命を語るに、静的、線型的、還元主義的な考えが通用せず、「生命とは動的平衡にあるシステムである」というのが筆者の主張です。 効果的なダイエットの方法論など身近な話題や、ES細胞など生物に関するニュースでよく見る話題を、分かりやすく解説してくれます(ミトコンドリアの話などちょっと誤解を生みそうな部分もありましたが)。 全体としては、ただなんとなく論をすすめていて説得力に欠けるところ、特定の思想に肩入れしてその問題点については触れないところが気になりました。			
	1巻すべて	254P (200分)	132-135	2013/05/14 18:08:36
ひやくたむ ☆☆☆	記憶の章に少し興味をそそられていたのだが、実感として意識しづらくて理解しづらかった。とりあえず100ページまで読んだが、自分はこの分野はあまり興味のない分野だったのかという発見はできた。			
	一巻1-100	100P (60分)		2013/05/07 12:55:52
book9648 ☆☆☆☆	動的平衡1を読まずに動的平衡2を読みました。 がんの新しいとらえ方に驚きました。 「DNAが先か、たんぱく質が先か」というのも面白かったです。			
	1-254	254P (240分)	236-240	2013/05/07 12:31:45
ちょんまげ ☆☆☆☆☆	動的平衡1を読んでない状態で動的平衡2を読みましたが、普通に楽しめました。 著者は生物学者の福岡伸一氏で、自分の専門とはまったく違う分野であるのに高校レベルの知識があればずっと理解できるほど平易に文章を構成されているので、イメージしたものよりずっと読みやすく感じました。 三章の植物が動物になった理由は特に興味深く、動物が常に選択と集中を繰り返し自分の体を最適化しながら進化・退化を重ねていることを知りました。			
	全部	250P (200分)	三章、118-120ページ	2013/04/20 23:42:53

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

宇宙になぜ我々が存在するのか

著者名	村山 斉	発行年	2013年
出版社名	講談社ブルーバックス	ページ数	192ページ
値段	800円	ISBN	978-4062577991
コメント	ビバ・ニュートリノ！キミのおかげで、ボクたちが存在するんだ。 おなじみ村山先生の親しみやすい語り口に誘われて、超むずかしいのに、超わくわくする極上の宇宙トリップをどうぞ。		

読者投稿欄

ペンネーム お勤め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ゆー ☆☆☆☆☆	学部では物理学を専攻していたのですが、やっぱりこういう風に書かれると、「素粒子」とか「宇宙」のことってすごく奥深くてなおかつ身近で興味深いなって思いますよね！ 飲み会とかで話したら面白いと思ったのですが、女の子に「ニュートリノはね、右巻きはないんだよ」って話したらドン引き間違いなしです。			
	ばらばらと	192P (60分)		2013/07/31 16:08:22
だんぼーる ☆☆☆☆	スケールの大きな話を、解りやすく丁寧に解説している本。 宇宙のすごさが身を持って実感できること間違いなし！			
	全部	192P (110分)		2013/07/28 23:54:44
万年筆 ☆☆☆	ふだんミクロの物理となんら接することのない自分からすると、新しい知見を多く得られる読書経験でした。ブルーバックスの本らしく、あまり数式や難しい言葉を使わずに説明していて好印象。また、今までの素粒子研究の歴史を踏まえた上で最新の研究を紹介している著者の能力には感心させられました。 ただ、やはり自分からすると素粒子はあまり関心がもてなかったためこのような評価となりました。			
	全部	192P (120分)		2013/07/27 20:06:28
	ウーム、難しい。 どうして、粒子がやりとりすることで、重力やら電磁気力になるのだろう……でもそんなことから説明したら広辞苑程の厚さになってしまうのでしょうかから仕方ないのかな。			

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィー
ル

掲示板

<p>フラン ☆☆☆</p>	<p>そういう意味ではこの分野ではどのようなことを追っているのか知りたい人にはおすすりできると思います。</p> <p>シックスナイン以上の精度?が必要って気の遠くなるような数だけやってるんだなぁなど厳しさも垣間見れました。</p> <p>にしても、ニュートリノは変に話題になる奴ですね。質量が無いと思われていたのに実際あって物理学者をあっといわせたり、今度は質量があるのに光速を超えたとか言われたり。</p> <p>IBM が原子をコントロールしてパラパラアニメを作ったように、いつかクオークを使ったアートとかできないかなと妄想を広げておりました。</p>	<p>すべて</p>	<p>192P (120分)</p>	<p>2013/07/08 10:04:53</p>
<p>曦 ☆☆☆☆☆</p>	<p>Amazing!</p> <p>物理学には興味を持って、難しすぎると思う人に向いています。 この本を理解出来れば、素粒子の小さい世界から宇宙の大きい世界までのイメージが眼前に広がるでしょう。</p> <p>初の5星!</p>	<p>全部</p>	<p>192P (150分)</p>	<p>2013/06/25 22:42:39</p>
<p>0120086144 ☆☆☆☆</p>	<p>たぶんこの内容を全部理解するにはまた学部一年生からやり直しても足りないんだろうなあと思った。</p>	<p>1-186</p>	<p>186P (40分)</p>	<p>2013/06/14 15:08:03</p>
<p>vecky ☆☆☆☆</p>	<p>東工大生ならアレルギーなく読めるのではないのでしょうか。</p> <p>一通りパラパラ読むと、ニュートリノやヒッグス粒子のことがわかった気がしますけど、あくまで飲み会のネタレベルですかね。</p>	<p>パラパラ</p>	<p>192P (120分)</p> <p>平易に説明してくれる 図や表現</p>	<p>2013/05/27 11:34:24</p>
<p>ちょんまげ ☆☆☆</p>	<p>読んだらスーパーカミオカンデの名前の由来がわかります！ そこで切れるのか…</p>	<p>全部</p>	<p>192P (120分)</p> <p>素粒子の紹介のところ</p>	<p>2013/05/01 22:26:21</p>
<p>まるちぶる ☆☆☆</p>	<p>皆さんのコメントを拜見してですね、簡単なんやーと思って読み始めたら割と難しかったです！みんなすごいなぁ。</p> <p>例示すると誤ること不可避っぽい物理の世界においては、かなり分かりやすい本なのだろうなーという感想です。もう一読すれば掴めそう。実際何やったか知らなかった著名な科学者さんについても、一通り学べます。有難し。</p>	<p>全て</p>	<p>192P (120分)</p> <p>pp.48-54</p>	<p>2013/04/25 20:58:32</p>
<p>はまじ ☆☆</p>	<p>「私たちの体は物質でできているので、反物質でできているアイスクリームに触れてしまうと、そこで大きな対消滅が起きてしまいます。対消滅によって、手が無くなってしまいます。」 もっとも印象にのこった一文です。難しい話を例えによって、面白くしてくれます。この考えを就職活動の研究紹介でも応用できました。難しい単語や定理は身近なものに例えてしまう。これにより、技術者としてのセンスも出せると思います。</p>	<p>3-80</p>	<p>75P (60分)</p> <p>3-7</p>	<p>2013/04/23 12:04:38</p>

quench ☆☆☆	宇宙についてのおおまかな知識が得られる。内容もそこまで難しくなく読みやすい。宇宙に興味のある人は読んでみるのも悪くないと思う。			
	全部	184P (150分)		2013/04/20 19:50:07
まほら ☆☆☆☆	本当は大学で経済なんかじゃなく宇宙について学びたかったので、興味があったこともありとても面白かった。素粒子研究は日本で盛んな分野なのでこの機会に是非。			
	全部	192P (150分)		2013/04/20 03:31:09
しろ ☆☆☆	素粒子に関する最新の研究まで簡単に紹介してくれる本。 話が大きすぎて想像できない話もたくさんあるけどなんとなくの雰囲気をつかむのにはちょうどいい。 ちょっとでも宇宙に興味があるなら7章に簡潔にまとまっているのでそだけ読むのもあり。			
	全部	184P (150分)	154-181	2013/04/15 20:07:22
book9648 ☆☆☆	素粒子についての知識がなくても、それほど難しい内容である。1回読んだだけでもなんとなく雰囲気がつかめる。 ところどころのイラストが面白く、理解の助けになる。 初心者が読むと信じられないような部分もあるが、それが新鮮で面白い。			
	3-186	184P (180分)	154-181	2013/04/14 09:30:49

[TOP](#) ^

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィール

掲示板

はやぶさの大冒険

著者名	山根一真	発行年	2010年
出版社名	マガジンハウス	ページ数	288ページ
値段	1,365円	ISBN	978-4838721030
コメント	各ページの右端にご注目。パラパラパラ……。こんな小さな仕掛けからも、著者の山根さんが、はやぶさに寄せる思いが伝わってきます。はやぶさの誕生から帰還まで、ゆっくりじっくり見つめてきたライターさんならではの思いの結晶。——おかえりはやぶさ。君は最後の最後まで大したやつだった。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
river.i ☆☆	よく7年もの間失敗する確率のほうが高いことに人生をかけられるなと思いました。その分成功したときにはものすごい感動なんだろうな。			
	とびとびで	70P (30分)		2013/07/31 11:51:33
マルメロ ☆☆☆	対談形式なので読みやすかったです。ただ、対談相手のノリが軽薄に感じられて好みではなかったので途中でやめてしまいました。(たとえ話が・・・)			
	1-50ページ	50P (60分)		2013/07/15 23:00:44
book9648 ☆☆☆☆☆	いくつもの困難を乗り越えてカプセルを地球まで届けたことが、かなり奇跡的であり、しかし多くの努力によって成し遂げられたとわかった。本文が読みやすくてよかった。			
	1-295	295P (240分)	233-246	2013/05/14 12:57:27
	専攻が化学よりなので、Xeにマイクロ波を当ててイオン化するという記述でほうとか思ってました(原子半径が大きいほうが第一イオン化エネルギーが少なくて済むため)。ただそういった深い話は少なく、「こんなに苦労して開発しました」という開発者のお話みたいなものがほとんど。宇宙って大変なんだなという意味では★5ですが、物語としては交信が絶たれていた時期の焦らしが無いので★3かなと。			

フラン
☆☆☆☆

それにしても科学者とは奇妙な生き物にも感じられる。この本で話をされてる方の目は子供のよう
な輝きを持っているように思えた。いや実際にそうなのだろう。いくら「地球の内部のことがわか
り、自身のメカニズム解明につながるかもしれません」と言っても、実際の駆動力は小学生の工作
などに近いかもしれない。そんな今までに見たことのないドキドキを体感しようとする。そういっ
た姿も垣間見れて面白かった。

すべて

288P (110分)

2013/04/14 23:32:49

[TOP](#)へ

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

宇宙飛行士が撮った母なる地球

著者名	野口聡一	発行年	2010年
出版社名	中央公論新社	ページ数	120ページ
値段	1,900円	ISBN	978-4120041839
コメント	富士山がフジツボみたいっ！誰がうまいこと言えと…… いやもう、ワンカットごとに、なんなんだこれは、どうしてこんな色なんだ、と驚きが尽きません。マッシュルーム みたいな月や、小石みたいなエアーズロックや……。野口さんプロデュースの宇宙散歩、お楽しみください。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
万年筆 ☆☆☆	Part1が日本、Part2が地球のまわりの宇宙、Part3,4が世界といった構成になっています。			
	自分としてはPart2がおすすめです。CGのように美しい写真が実際に撮影されたものだと思うと、 いつか宇宙旅行をしたい！と思わせるほど迫力があります。			
	全部	120P (30分)		2013/07/31 22:57:57
river.i ☆☆☆☆	やっぱり地球ってきれいだなと思いました。 もちろん宇宙もきれいです。 ただ緑が少ない土地の写真を見ると悲しくなります。			
	たしかに富士山がフジツボに見える。笑			
	全て	120P (15分)		2013/07/31 15:47:38
だんぼーる ☆☆☆☆☆	故郷を離れることで、はじめて自分の育った場所の良さがわかったり、 日本を出て海外に行く事で、はじめて自分の生まれた国の素晴らしさがわかるように、 きっと地球を飛び立って、初めて僕らの生きている星の尊さを心から理解できるのかもしれない。			
	数百ページある本よりもよっぽど雄弁な写真集です。			
	すべて	120P (20分)		2013/07/28 21:59:47
こだま ☆☆☆☆☆	文字通り、いつもの風景とは違った視点で地球の面白い風景を見る事が出来ました。			
	全て	120P (15分)		2013/07/28 14:53:44

まほら ☆☆☆	知っているような場所でも、遠くから見ると全く違うものに見える。新しい発見があった。個人的にはサハラ砂漠の写真が好き。		
	全部	120P (15分)	2013/07/25 15:01:01
zin ☆☆☆☆☆	息をのむほど綺麗。 自分はこんなところに生まれ、生活しているのか。 と驚く。 我々は学生、都民、日本人、アジア人いろいろあるけど、 やっぱり地球人なんですよ。		
	全部	120P (30分)	2013/07/25 13:27:06
はやぶさ ☆☆☆☆	きれいですね。見慣れた日本地図も角度が少しずれるだけで、まったく別な地形に見えました。		
	全部	120P (10分)	2013/07/17 15:05:19
いわし ☆☆☆☆☆	自分が普段住んでいる場所や、行ったことのある場所が宇宙から見るとこんな風に見えるんだ〜という感じでとても面白かったです。夜の光ってあんなに明るく見えるんだ〜というのも驚きでした。		
	全部	120P (30分)	66 2013/07/17 14:43:48
candy ☆☆☆	宇宙に行って、写真じゃなくて生で見たいと思った。写真をずっと見ていられるくらい、写真がきれいです。宇宙からこんなにきれいに写真を撮って写真を共有してくれた野口さんに感謝です。		
	全部	120P (40分)	2013/07/16 09:50:55
PON ☆☆☆☆☆	写真がきれいでばらばら眺めているだけでも面白い		
	全部	119P (30分)	2013/07/09 10:47:16
pinpon ☆☆☆☆	写真がきれいでした。この前、NHKで見たきれいな映像を思い出しました。		
	全部	119P (30分)	2013/07/02 11:22:15
しろ ☆☆☆	当時野口さんのtwitterをフォローしていたが、写真集を眺めているとその時の衝撃を思い出した。宇宙飛行士という特別な人にしか見られない数々の地球の美しい風景。これがだれにでも見られるような時代が早く来ればいいのになぁと思った。		
	全部	120P (20分)	2013/06/28 18:44:30
みね ☆☆☆☆☆	The picture is good to understand the mother we have that the earth~		
	1-120ページ	120P (20分)	2013/06/18 23:56:31
25 ☆☆☆	地球のへりなど、宇宙ならではの写真をもっと見たいと思いました。ただ宇宙空間で写真を撮ること自体が大変なことなんですね。		
	すべて	119P (15分)	p53 2013/06/11 15:44:05
	各種の地形を分類化して展示しているところと、災害後地形写真が面白い。		

ばみゆ ☆☆☆☆	全部	120P (60分)		2013/05/28 13:14:23
quench ☆☆☆☆	思わず見とれてしまうような写真がたくさんあった。環境問題やらエネルギー問題が近年騒がれているが、個々人が認識を改め、地球の文化や自然を守っていかなければいけないと感じた。			
	全部	119P (20分)		2013/05/22 16:10:09
くい ☆☆☆☆	宇宙から見た地球は美しい。 都市や自然にもいろいろな個性がありおもしろかったです。			
	全部	119P (20分)	写真	2013/05/07 12:53:49
14 ☆☆☆☆☆	地球の神秘。衛星写真をたくさん見られる感じでしょうか。宇宙から見ると圧巻な自然現象を個人的には多めに載せてほしかったのですが、貴重な画像なのと撮影難度が高いことから星5つ。			
	すべて	119P (20分)		2013/04/23 17:20:28
rk ☆☆☆☆	上空から見た世界も場所によって個性があっといういなあ〜と思いました。宇宙に行ってみたくとも思いますが、やっぱり地球上にいろんなところに行ってみたくです。			
	全部	120P (20分)	80ページあたり（数字が書いてなかったの で…）	2013/04/23 10:23:19
book9648 ☆☆☆☆	写真だけでなく、野口さんがつぶやいた言葉を一緒に見ることが出来るのでおもしろい。 最後のインタビューのところもなかなか面白い。			
	1-119	119P (30分)	6-9,112-117	2013/04/22 18:00:21
おいしい ☆☆☆☆	宇宙から撮った東京、札幌などの写真は書籍の1ページに収まるほどであり、人間の小ささを再確認させられました。またコンパスで描いたような綺麗な弧を描く海岸線や砂漠に創られた髑髏など、自然が造った珍百景が満載で楽しめました。個人的には、スロベニアの写真が地上で何が起きているのか、非常に気になりました。最後の方には野口さんの貴重なインタビューも載っているので、お読み忘れなく。			
	全部	119P (30分)	69,77,112-117	2013/04/22 17:56:12
555 ☆☆☆☆	自分では実際には一生見られないような写真が沢山乗っています。個人的に一番感動したのは徳島県の航空写真。川沿いにまちが発達しているのがひと目にわかります。都市部ではまちの構成が、また自然地では、本物とは思えないような光景が広がっていて、どちらもびっくりさせてくれます。			
	全部	119P (30分)	徳島県の航空写真	2013/04/22 17:40:27
ひやくたむ ☆☆☆	夜景が、まるで火事のように燃えているように見えて若干戦慄した。			
	全部	120P (10分)		2013/04/19 16:41:36

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

最新世界情勢地図

著者名	バスカル・ボニファス	発行年	2011年
出版社名	ディスカヴァー・トゥエンティティワン	ページ数	143ページ
値段	1,700円	ISBN	978-4799310083
コメント	世界地図で遊ぼう！ 工夫されたレイアウトで表現されたマップの一葉一葉から、資源配分や歴史やパワーバランスや、ほんとにいろんな「光景」が見えてきます。今日はイランから世界を眺めてみましょう。		

読者投稿欄

ペンネーム お勤め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
おいしい ☆☆☆☆☆	いつか役立つであろうデータのオンパレード。読んで損は絶対ないはずです。			
	全部	143P (20分)		2013/07/30 21:59:31
14 ☆☆☆☆☆	こういう本を待っていました！ 手に取るように世界の様々な情勢が絵で分かる本。後ほど購入しようか検討中。就活四季報もこれぐらい分かり易く簡潔ならいいのにね。			
	全て	143P (100分)		2013/07/30 14:03:20
zin ☆☆☆	ビジュアルが優れていると思う。 図だけで結構手に取るようにわかる。 世界を様々な切り口で見られるので、いいと思った。			
	全部	143P (60分)		2013/07/25 13:49:29
なすび ☆☆☆	電車の中でばらばら見れるのはいいんだけど、どうしても世界史の資料集の感覚がぬぐいけれず。。。知識としての世界史を学びたい人にはおすすめ			
	全部	143P (100分)		2013/06/19 15:51:17
quench ☆☆☆	ぱっと見て気になったところだけ読んでみました。地図が非常に見やすくまとめられていたと思います。			
	全部	143P (20分)		2013/06/05 14:27:16

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィー
ル

掲示板

ばみゆ ☆☆☆☆☆	図面によって説明、理解や覚えやすいです。前に読んだこの類の本と比べると、新しい評価点が入っていて、おもしろいと思います。			
	全部	143P (140分)		2013/05/28 13:02:48
ちょんまげ ☆☆☆☆☆	説明を読まずに図だけをパッと見てどういことが書いてあるのかを予想して答え合わせをするという遊びをしたら結構難しく楽しかった。後半の冊数稼ぎにも良いかと！			
	全部	143P (60分)	地図	2013/05/21 12:31:11
ひやくたむ ☆☆☆	立ち読みポイントをそれぞれから見た世界としたが、著者がフランス人であるので、フランス人視点であることを注意したい。 日本の軍国主義より中国の脅威の方が大きいと思うのは私が日本人だからだろうか			
	全部	143P (30分)	72-	2013/05/13 13:55:55
555 ☆☆☆☆☆	ビジュアル的に見やすく、わかりやすい。世界のことをちょっとずつ知ることができるし、かつ内容のまとめ方の参考にもなる、			
	全部	143P (30分)		2013/05/07 17:09:01
book9648 ☆☆☆	地図と解説が見開き1ページで構成されていて見やすい。地図が見やすく、眺めているだけでも楽しめる。			
	1-143	143P (60分)	41-69	2013/04/30 21:01:39
みね ☆☆☆☆☆	広くて読みやすい、色々な視点から見ると			
	1-143ページ	143P (60分)		2013/04/16 21:23:46
おさむ ☆☆☆	広く浅く、教養を得れる。			
	10-69,72~	100P (60分)	発展途上国からみた世界	2013/04/16 12:53:55

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

地球のハローワーク

著者名	ナショナル・ジオグラフィック	発行年	2009年
出版社名	日経BP社	ページ数	333ページ
値段	1,900円	ISBN	978-4863130722
コメント	表紙の写真に一目惚れ。 人生の豊かさとか、地球の広さとか、めんどーなコリクツなんて、どうでもいい。パラパラめくって運良く「一目惚れ」に出会えたらこの本はあなたのものです。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
じゃけん ☆☆☆	写真をパラパラとめくりながら、自分と比較しながら様々なことを考えることができた。世界の広さを知ることができた反面、自分の小ささを感じました。			
	パラパラと	100P (60分)		2013/07/31 22:39:05
river.i ☆☆☆☆	笑顔になれる写真もあればこんな仕事もあるのかと現実を突きつけられる写真も。 やはり少年、少女、ひどいときには赤ちゃんが働いているのをみるといたたまれない気持ちになります。 いつかそんなことをしなくてもいい時代がくれば。			
	全て	333P (15分)		2013/07/31 15:34:37
kabadie ☆☆☆	働くということが生きるということとつながっていて、それは泥臭くも貴い活動なんだと再認識させられた。			
	全部	333P (40分)	256	2013/07/19 15:45:16
iksk ☆☆☆☆	1ページごとに考えさせられた。 様々な場所で、様々な方法で、様々な人が働いている。 みんな何かのために働いている、それは誰かのためでも自分のためでもいい。働く事それ自体に意味があるのではと思った。			
	全部	333P (30分)		2013/07/17 16:12:55

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

AM5:42 ☆☆☆	働くことの意味。 働くのはなぜ？生きるため？お金をもらって楽しいことをするため？自分の興味関心を深めるため？死なないため？ 誰のために、何のために、何を指して働くのか。 写真を見ながら深く考えさせられた。	全部	333P (30分)	82 (水面に浮かぶ船)	2013/07/16 17:08:26
rk ☆☆☆☆	世の中には色々な仕事があると思います。 これから就活をしようかと考えています。でも、いろんな職種があると思いますが、表紙のように細い枝に登って釣りはしたくないです。	全部	333P (30分)	砂漠を車が走っていく 写真	2013/07/16 17:07:56
joker00 ☆☆	「働く」ということ。 これから就活が始まるわけですが、この本を読んでも何ら参考にはなりません。 ただ、自分を見つめ直さなきゃなーと、そんな思いに突き動かされました。	全部	333P (30分)		2013/07/16 13:05:31
recald ☆☆☆	就職で迷っている時よりも、就職後に自分の仕事で悩んでいる時に見たい。	全部	333P (30分)		2013/06/18 11:41:40
555 ☆☆☆☆	地球のハローワーク、働き方と言うよりは、暮らしや生き方が描かれているような本であった。写真の訴える力は、時として言葉を上回るのだなあと思った。タイトルからイメージされるビジネス的な面はなく、世界の多様な生き方が描かれていた。	全部	333P (50分)	p122,p253	2013/06/10 16:21:49
quench ☆☆☆☆	自分の知らない世界を見ることができる。働くということについて改めて考えさせられた。	全部	333P (20分)		2013/06/05 14:31:17
ばみゆ ☆☆☆☆☆	真実的な写真を通して、普段は見えなかった、あるいは気にならなかった世の側面を展示しています。生活に対する感嘆や思考を導き出されました。	全部	333P (100分)		2013/05/28 13:10:19
14 ☆☆☆☆☆	同じ地球でも働き方は様々で、恵まれているんだと痛感した。	全て	335P (20分)		2013/05/21 16:59:55
はまじ ☆☆☆☆	私には「職場恋愛をしてみたい」という思いがあります。これが甘い考えだということがわかりました。 機械系の東工大生の働く現場は、きつい環境であったとしても工場の現場で生産技術にかかる程度だと思います。研究開発できれいな建物の中でパソコンの前に向かうだけです。そこには、数人の事務の女性がいて、運が良ければ職場恋愛をしてみたいと思っていました。そんな写真もあるのだろうと思っていました。しかし、この本に出てくる写真の多くは食べるために泥臭く働いています。写真から強烈な臭いが漂ってきそうなほどです。 職場恋愛という甘い考えを捨て、泥臭く働きたいと思います。	1-333	333P (60分)	119-120	2013/05/20 15:32:20

みね ☆☆☆☆	amazing!it's touch my heart.			
	1-333ページ	333P (30分)		2013/05/14 21:25:00
おさむ ☆☆☆☆	<p>写真で確認できる所々の違いは、その人々自身というよりも地理的・社会的な要因が占める部分が大きいように感じた。我々に出来ることは、結局自分自身が笑顔になって、あわよくば周りの人々がポツと暖かくなれるように振る舞う。その程度なのであろうし、それで十分なのだと思います。もしかしたら、自分が政治学を勉強している理由の根源はこんな写真集の風景に端を発していたのかもしれない。</p>			
	全部	333P (30分)		2013/05/07 12:38:25
まるちぶる ☆☆☆☆	<p>来年から働くんです。 生きるために働くというのが想像できないし、就労したらしたで忙殺されて考える暇なくなるんだらうな、と思ってます。</p> <p>この本を読んでも、そういう切実さは得られなかったんです。でも、働くことの根っこの部分を考えるいい機会になりました。生きるために、死なないために、働くというレベルがあることを考えれば、大抵の事は乗り越えられると思います。</p>			
	全て	333P (50分)	どこ読んでも刺激があります	2013/04/25 22:22:22
しろちゃん ☆☆☆	<p>就活を終えたばかりですが、自分はどういう意味で仕事を選択したのか考え直すととても狭い意味で仕事を見ていました。でもそうならざるを得ない部分もあって、複雑な気持ちになります。人間が人間として文化やコミュニティを作るようになって、生きる術や生きがいとして仕事確立し、賃金を得る、自己確立等に通じていたけれども、今日本の仕事の中にどのくらい自分というものが入っているのか考えてしまいました。</p>			
	全部	333P (25分)	114、310-311	2013/04/23 16:07:48
zin ☆☆	世界は広い。改めて実感した。視野が広がる。			
	1-333	333P (20分)		2013/04/15 19:36:58
vecky ☆	<p>本の帯にもついている通り、とにかく写真をみるのみです。</p> <p>世界中の人々の働いている姿・日々の生活を写真におさめています。</p> <p>それだけです。なので自己啓発的に 「就活のために」 などという期待感を持って読まないこと。 こういうライフスタイルもあるのか、という程度にしましょう。</p> <p>ナショナルジオグラフィックの写真集であるならば、もっとみるべき写真集があるので、興味がわかなくなったら観なくていいでしょう。</p>			
	全部	333P (30分)	278-279ページ	2013/04/10 16:31:37

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

不平等について

著者名	ブランコ・ミラノヴィッチ	発行年	2012年
出版社名	みすず書房	ページ数	195ページ
値段	3,000円	ISBN	978-4622076919
コメント	難解なこととつとに名高い「みすず書房」さんの本。この本もかなり手ごわいですが、でも、「経済学と統計が語る26の話」とサブタイトルにあるように、こまぎれトピックなので、つまみ食いしやすいのが良さ。特にすぐれた洞察に裏打ちされたユニークなグラフ群は、論文を書くときの良いお手本にもなるでしょう。145ページの図6とか。 あるいは135ページの図5、世界恐慌と第二次大戦で得た大陸&損した大陸。えっ、こーんなに差があったんだ。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
おさむ ☆☆☆☆	サミュエル・P・ハンチントンの「文明の衝突」を思い出しました。確かに統計指標だけを眺めていたらある種、本文にあるような悲観的な意見を持ってしまいかもしれない。確かにそれは真実かもしれないけれど。でもそれが真実であればあるほど、明るい展望をもって努力したいじゃないですか。そのように思わせてくれる世の中の事実! ?を暴いた書籍。			
	57-78	20P (30分)		2013/07/29 17:13:54
まるちぶる ☆☆☆☆	『また君の中の常識が揺らいでる 知らなきゃ良かったって思う事ばかり』 こんな風にMr.Childrenの桜井くんは歌うわけですが、この本にはそんな話がたくさん詰まっています。生まれた国による格差ってすごいことになってるんですね。社会階層が固定されると国が傾くという話は社会主義によって経験されているんですが、世界における国別格差が固定状態に入るとどうなってしまいうだろう。どうやらマズそう。 あー知らなきゃよかった。知ってしまったからには多少なりとも意識してしまうからね。根っから善人だから僕は。			
	全て	195P (120分)	p.108, 図2	2013/04/17 15:51:01

[TOP](#) ^

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィール

掲示板

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

経済大陸アフリカ

著者名	平野克己	発行年	2013年
出版社名	中公新書	ページ数	286ページ
値段	880円	ISBN	978-4121021991
コメント	データがぎゅうっと詰まった最新アフリカ事情。今、世界のなかでアフリカがどう動いているかが、資源の好調と農業の停滞という2つの現象を軸に鮮明に見えてきます。よくある歴史的説明はばっさり省いて、今、何が起きているか、中国の台頭は？ 国際企業の進出は？ とホットな 이슈から照らし出した手法がみごとに成功しています。ただ、あまりに情報量が多くて密度が濃いので、初心者さんは胃もたれしそう。ばらばらめくって、ぱっと目に付いたグラフから、その周囲をつまみぐい、というアプローチ法がおすすめです。アフリカ専門のエコノミストさんの入魂作、ひとかけらでもご賞味ください。商社や資源開発系の企業への就職を考えているかたには特に有益です。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
ゆう ☆☆	友達がケニアに留学中なので気になって読み始めた。が、想像以上にかっちりした本で、途中で挫折してしまった。なにか別のきっかけがない限り厳しい			
	100	100P (60分)		2013/07/31 01:21:27
zin ☆☆☆☆	最近発展著しいアフリカ。 新たな市場として注目を集める。 アフリカ経済は今どうなっているのか。 それをアフリカ視点で見るのではなくグローバルな視点で見られるので多々脱帽する点があった。 中国とアフリカの関係についてあなたはご存知ですか？			
	全部	286P (180分)		2013/07/25 13:06:13
フラン ☆☆☆☆	2・3章はどうして上手く行ってないのかという内容に近い印象。潜在能力はあるのに、天然資源という物があるせいで歪んでしまうという現状を語っている。 同じ内容が再演される状況はあまりもう考えられないが、資源との付き合い方を考えさせられる。一方で中国というワードも多く出てきている。この国が資源をいかに見ているかが察せられる。			
	60-146	87P (40分)		2013/07/24 01:43:47
pinpon ☆☆☆☆	アフリカレポートでは暗い話だったが、この本では、明るい兆しがかかれていいる。日本人を育てる援助のところがよかったです。			
	全部	280P (60分)	260`最後	2013/07/16 20:40:01

PON ☆☆	かなり真面目な文章。 アフリカに興味がない人がふらっと読める本ではない。			
	1-98	98P (120分)		2013/06/04 10:43:04

Harley Davidson ☆☆	アフリカに行ってみたい。			
	全部	282P (100分)		2013/05/12 00:11:26

みね ☆☆☆☆☆	アフリカの発展力が強くなっている。			
	1-57,262-286,58-166	200P (130分)	1-57	2013/04/23 21:09:27

マルメロ ☆☆☆	アフリカを切り口に世界情勢を伺うことのできる内容でした。 ODAの成り立ちを知ると、その見方が少し変わったように思います。			
	100-215	125P (50分)		2013/04/22 13:40:34

[TOP](#) ^

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィール

掲示板

アフリカ・レポート

著者名	松本仁一	発行年	2008年
出版社名	岩波新書	ページ数	199ページ
値段	700円	ISBN	978-4004311461
コメント	ジャーナリストさんが伝えるアフリカ情報。 失敗だらけの国づくり、たくましく中国人商人の展開など興味尽きないけれど、経済学を勉強しているなら、下記の2点をぜひ考えてほしい。 ジンバブエの惨状について、著者はインフレ率16万%、ハンバーガー1個が3000万zドルと紹介し、それもこれも権力が腐敗し、ムガベ大統領が私腹を肥やしたせいだ、と指弾する。 疑問1 物々交換が常態の国において、通貨を基準にした数値は、どれほど意味を持つのだろうか？ 疑問2 権力者がスイス銀行に隠し口座を持ったくらいで、国の富がすっからかんになってしまうものなのだろうか？		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
0冊からの追い上げ ☆☆☆☆	アフリカについてはほとんど知らなかった。東南アジアよりも後位の発展途上国という印象だけ。しかし読んで驚いたのは、いくつかの国では経済はちゃんと回っていて豊かな国もあった、ということ。なぜ過去形か？政府役人の私利私欲のためにうまくいっていたものまで破綻してしまった。日本ではここまではいかなくても、自分たちが知らずに国民の不利益になることが行われてきたかもしれないし、今も行われているかもしれない。政治に興味がない日本人の危うさについて考えさせられた。何が言いたいかというと、、、次の選挙行きます。			
	全部	199P (90分)		2013/07/31 03:23:51
じゃけん ☆☆☆☆	自分の知らないアフリカの姿を知ることができました。 歴史的、文化的な要因によって貧困が助長される悪循環をわかりやすく示してくれていると思います。			
	全て	205P (300分)	第五章	2013/07/22 14:20:59
こだま ☆☆☆☆☆	NGOなどによる資金援助や人材派遣は無駄だったのかと感じました。			
	全て	199P (120分)		2013/07/15 14:07:08
pinpon ☆☆☆☆	今のアフリカに必要なのは資金的な援助よりも、人を育てる教育であることが分かりました。			
	全部	205P (60分)	第六章	2013/07/02 11:27:19

PON ☆☆☆	ただ与えるだけの支援ではなくまじめに働くことへのインセンティブを必要があると思った。			
	全部	205P (180分)	174-200	2013/06/16 23:53:44
555 ☆☆☆☆	わたしはアフリカに行ったことはないし、これからの人生で行くことがあるかどうかもわからない。自分にとって未知の土地である。アフリカにぼんやりとあった「危険」というイメージが具現化されている気がした。			
	第一, 二章	81P (60分)		2013/06/10 16:29:46
万年筆 ☆☆☆	アフリカの現状について認識できました。アフリカの貧困という問題が量的に解決できる表層的なものではなく、民族という深いところに根を下ろした難しい問題であるということがわかったのが収穫です。一番衝撃的だったのは、アフリカの中では比較的発展していて治安もいいだらうと思っていた南アフリカ共和国の治安がものすごく悪かったということ。			
	全部	199P (120分)		2013/05/19 22:52:01
いわし ☆☆☆☆	アフリカの発展は未だに行き詰っていることが分かった。政府はほぼ独裁状態の国も多く、補助金を渡しても機能しない状況なんだなあと感じた。そこで筆者は、アフリカの人々の自立心を頼りに、経済を自分たちで支える必要を訴えていた。自分も知らない振り続けるのは嫌だと思った。			
	1-52,173-200	79P (90分)	15-26	2013/05/15 14:57:49

[TOP](#) ^

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィール

掲示板

絶対貧困

著者名	石井光太	発行年	2011年
出版社名	新潮文庫	ページ数	323ページ
値段	540円	ISBN	978-4101325323
コメント	石井光太さん。私たちがおそらく一生関わらずに「済む」（←この2文字をゴチックとして読んでください）であろう世界を、ここまで深く、たしかに、かつ明確な主張とともに届けてくれる書き手さんを他に知りません。 山室的立ち読みポイントは ・55-56ページ メイちゃんのお母さん ・164ページ 花売りビジネスモデル ・292-3ページ 売春宿の子供は高学歴		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
river.i ☆☆☆☆	売春婦になった人の実態。どういう仕組みか。色々意外だったけれど印象に残ったのは子どもをもつ売春婦の言葉でした。いずれ子どもに軽蔑されることはわかっているけれど子どもが幸せになってくれるならそれでいい。どんな場所でも母親は強い。			
	238-264	26P (10分)		2013/07/31 16:11:03
おさむ ☆☆☆☆☆	筆者が現地の人々と同じ目線で取材したからこそ伝わってくるリアル感と途方もない距離感。もしかしたら、スラム街のような場所で生活している人々を見て「可哀想」と思う感情から私は変えていく必要があるのかもしれない。そんなことを教えてくれる内容でした。			
	1-95、222-281	151P (60分)	興味の湧いたところ	2013/07/24 15:23:49
じゃけん ☆☆☆☆☆	想像以上の事実ばかりで、面食らうような感じだった。メディアでは取り上げられない部分にスポットライトを当てた作品なので、いい意味でもわるい意味でも新鮮なことばかりであった。なによりも最貧国のリアルを知れてよかったと思う。			
	全て	323P (240分)		2013/07/18 18:08:17
neueziel ☆☆☆	読んですごく不快になってしまった。だがその不快な事実を知れてよかった。			
	全部	323P (180分)		2013/07/16 10:49:11

蛭田 ☆☆☆	<p>筆者のやたらものすごい行動力にまず驚いた。</p> <p>貧困は確かに常にどこかに存在していて、そういった物とほぼ関わることもない僕には、かなりショッキングな内容ばかりで、読むのがしんどかった。</p> <p>一方で、あまりにかけ離れた世界の話なのでどこか夢物語のようにも感じてしまう。</p> <p>貧困社会にも存在するヒエラルキーの話など、普段テレビなどで見るようなドキュメンタリーとは異なる視点から描かれていて、新鮮というか・・・とにかく驚きが多かった。</p>	1-200あたり	200P (120分) 2013/07/11 18:23:11
recald ☆☆☆☆☆	<p>写真が多くて読みやすいけど内容はかなり過激。スラムの人たちもすごいけど著者もすごいな、って思う。</p>	全部	323P (180分) 2013/07/02 11:50:14
pinpon ☆☆☆	<p>母親、子供、祖母が連携して売春と花売りをしているところを読んだ時はびっくりしました。</p>	1-50 第三章	100P (45分) 第三章 2013/07/01 16:51:07
フェリー ☆☆☆	<p>貧困の実態が生々しく描かれており、悲しい気持ちになってしまいました。</p>	1-65	65P (30分) 2013/06/25 22:33:05
はまじ ☆☆☆☆☆	<p>都市のど真ん中にあるスラムでは、道路に用を足すしかないため、女性さえ道端に新聞紙を敷いて、スカートをたくし上げてしゃがみこんでうんこをします。この事実が一番衝撃を受けました。非常時だったらわかりますが、これが日常のスタイルとなると、信じられません。</p> <p>他にも、夫婦の性生活についてや売春宿に関しても衝撃を受けました。世の中、知らないことってたくさんあるのだと感じました。</p>	1-323	323P (180分) 36-42 2013/06/17 10:15:17
0120086144 ☆☆☆☆☆	<p>私なんかは絶対に関わらないであろう世界についての著作なので新鮮だった。大阪府大阪市西成区で聞いた話と被るところも多かったので、著者は外国にばかり目を向けなくて西成区もテーマに挙げて欲しい。</p>	1-319	318P (180分) 163-165 2013/06/03 20:52:44
フラン ☆☆☆	<p>冒頭に書かれているように差別的と取れる表現が数多く取られている。そう言ったのものが嫌いな人はあまりおすすめ出来ない。</p> <p>ただ、おそらく私が直面した際に感じるであろう感情を描かれているという意味では、必要な表現なのかもしれない。良い意味で「人間って強いな。」悪い意味で「人間って凄いな。」と感じた。読める人は読んでおいてもいいかもしれません。</p> <p>この直前に読んだ、「子どもの最貧国、日本」と比べれば、こっちのほうがお勧めでしょうか。こっちのほうが極限に近いものがあるので、興味深い（不謹慎ではありますが）と思います。</p>	15-74 97-298	262P (120分) 2013/05/27 11:12:02
PON ☆☆☆☆☆	<p>よくある世界の貧しい人についての本とは異なり、俗な生活の実態（お金を稼ぎ、ご飯を食べ、Hをする）を詳しく書いていて興味深かった。</p> <p>日本でもワーキングプアのような貧困が問題になっているが、路上生活者やスラムの貧困は日本人には想像もできないほど異質なものだった。</p>		

	1-323	323P (300分)		2013/05/21 00:03:06
こだま ☆☆	世界の貧困問題について著者の取材を基にして、項目別にかかれていています。一日の暮らしぶり、資金稼ぎなど衣食住の基本部分が分かり易く説明されている一方で麻薬や幼児誘拐、売春問題など闇の部分にも迫っている作品でした。			
	すべて	323P (180分)		2013/04/23 17:10:47
ほしほし ☆☆	アジアの貧困層のリアルを、筆者独自の視点で切り取っていた。どんなものを食べているのか、どうお金を稼いでいるのか、どんなところで体を休めているのか。。。新興国の人々の暮らしを知るにつれて心が痛んだし、今の日本の暮らしに感謝しなくてはと感じた。			
	1-323ページ	323P (88分)	1-21ページ	2013/04/17 21:10:00
マルメロ ☆☆☆	よくある貧困もののようにただ同情心を煽るものではなく、正義感に駆られたものでもない。長年、貧困者と近い目線に降りて向き合ってきた作者だからかける内容だと思います。本文は講義形式なので、サクサクと読むことができ、章ごとの独立性も高いので細切れ時間に読むのにも向いていると思います。			
	1-323	323P (120分)		2013/04/13 00:17:53

[TOP](#)^

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

ルポ 貧困大国アメリカ ・

著者名	堤 未果	発行年	2008年
出版社名	岩波新書	ページ数	409ページ
値段	700円	ISBN	978-400431126
コメント	サブプライムに不法移民、所得格差が拡大するいっぽうなのは国家がそう仕向けてるから。ワーキングプアはイラクで傭兵と化す。テロより怖い民営化。 ばんばんばんと立て続けに見せられて、ここまでヒドいのか、と唖然。ちょっと片方の局面を強調しすぎだとは思ふものの、そのぶん主張はわかりやすい。それがベストセラー街道幕進の理由か。 そして、これが日本でベストセラーになるのは、明日は我が身の危機意識か、それとも、やあいアメリカン・ドリームも崩壊してるんだと野次馬的いい気分になれるからか。 などなど、いろんな読みを引き受けられる軽量&パワフルな2冊。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
万年筆 ☆☆☆☆	アメリカと聞くと、超経済大国でアカデミックの世界でも世界をリードする国、のような華々しいイメージが大きかったですが、その裏側を大いに見せてくれて、衝撃的でした。			
	全部	207P (90分)		2013/07/31 23:29:31
こだま ☆☆☆☆	アメリカはもう見習うべき国ではなくなってしまったのかもしれませんが。刑務所がローリスク・ハイリターンの投資信託として考えられていることが衝撃的で上のようなことを考えてしまいました。			
	2巻(104-193)	89P (50分)		2013/07/26 23:26:24
フラン ☆☆☆☆	資本主義の中心地のアメリカについて。いかに資本主義が素晴らしいかではなく、その失敗が主なところ。			
	103-210	108P (40分)		2013/07/24 02:00:01

<p>kabadie ☆☆</p>	<p>リクルーターはノルマに圧迫され、学生は貧困から徴兵に応じ、その貧困から抜け出すことができなくなってしまうという状態があることに驚いた。</p>	<p>1のみ</p>	<p>190P (180分)</p>	<p>99-144</p>	<p>2013/07/16 16:58:00</p>
<p>AM5:42 ☆☆☆☆</p>	<p>日本とアメリカでここまで仕組みが違うことに驚いた。 病にかかってもお金がないと治療を受けられない。 結局健康であることが幸せへの一番の最善の道だと改めて感じた。</p>	<p>全部</p>	<p>409P (300分)</p>	<p>3章</p>	<p>2013/07/16 15:12:54</p>
<p>book9648 ☆☆☆</p>	<p>借金だらけになって大学に行っても仕事がない・・・ということになったら大変。 どうすれば貧困がなくなるのだろう。この本を読んで、貧困について考えるきっかけになった。自分が彼らの立場になった時のことを考えることが大切だと思った。</p>	<p>の全部</p>	<p>216P (180分)</p>	<p>12-16</p>	<p>2013/07/10 18:10:34</p>
<p>マルメロ ☆☆☆</p>	<p>アメリカは光と影の差がずいぶん激しいなと感じました。 以前、図書一覧の一冊「米国製エリートは本当にすごいのか」を読んでいたのが特にそう感じられたのかなと思います。 合わせて読むと理解を深めやすいのではと思います。</p>	<p>全て</p>	<p>409P (120分)</p>		<p>2013/07/08 00:39:07</p>
<p>はまじ ☆☆☆☆</p>	<p>「太った子供たちがせっかく汗をかいても、体育館を出たすぐの廊下にはずらっとスナック菓子やコーラの自販機が並んでいるのよ。」 印象に残った一文です。私はこの本を読み、自分のことを言われてる気がしました。なぜなら、アメリカで貧乏になったら、フードスタンプを使って高カロリーなモノしか食べられず、デブになってしまうからです。デブは裕福ではなく、貧乏の表れです。私のお腹は今、テリヤキバーガーの食べ過ぎで膨れてきてしまっています。アルバイト代で貯めた食費を節約するために、安いファストフードばかり食べています。これは、貧困で仕方なくマックのハンバーガーを食べているアメリカ人と同じ状況です。これからは栄養抜群の野菜を学食で食べようと決意しました。</p>	<p>1-207</p>	<p>207P (180分)</p>	<p>32-33</p>	<p>2013/06/04 11:52:35</p>
<p>ひゃくたむ ☆☆☆☆</p>	<p>カトリーナやイラク戦争の問題はうっすら知ってはいたが、自由の国アメリカで全く選択の余地がないところまで追い込まれている人々が大半いるとは思っていなかった。格差社会はそこまで問題だとは思っていなかったが、大問題だと感じた。</p>	<p>全部</p>	<p>207P (90分)</p>		<p>2013/05/15 14:49:37</p>
<p>PON ☆☆☆☆</p>	<p>話のメインはオバマ政権。オバマ大統領のChangeが実際にどのようなものか。 オバマ大統領は大統領選の時に注目が集まって、その後についてはあまり触れられていなかったで、この本の内容は興味深かった。 国民が政治家の「高度な政治的判断」を分かったふりをせず、説明を求めることが大事なのだと思う。</p>	<p>1-210 (の方)</p>	<p>210P (180分)</p>	<p>12-60ページ</p>	<p>2013/05/14 00:03:17</p>
<p>PON</p>	<p>アメリカの貧困層の実態について。 データばかりではなく、実際の貧困層のインタビュー（コメント）がいろいろとあるので、リアリティーがある。</p>				

☆☆☆☆

盲腸手術で破産といった話を日本の未来かも、と思うと鬱な気持ちになる。

1-200ページ (の
方)

200P (120分)

100-141 (4章)

2013/05/07 00:11:33

[TOP](#)△

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

ネット大国中国——言論をめぐる攻防

著者名	遠藤 誉	発行年	2011年
出版社名	岩波新書	ページ数	219ページ
値段	798円	ISBN	978-4004313076
コメント	お隣中国のネット事情について。ネットに政治的に介入する中国側の施策の裏側と、ネットユーザーの感情とがやけに生々しくて面白い。 中国版2009年の漢字は『被』だそう。 「被自殺」「被代表」「被増長」、なんだよそれと思ったら、p93へGO。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
フラン ☆☆☆☆	ファイヤーウォールが張り巡らされているのは中国だけともかぎりませんが。あしちや、こうするというイタチごっこの快活さは見ている分には非常に面白いです。日本でもよくありましたが。 日本の場合ネットよりはマスコミの誘導のほうが大きいのかなあ			
	1-114	114P (60分)		2013/07/30 19:14:47
だんぼーる ☆☆☆☆	ネット住民と政府当局、両方の思惑が危ういバランスながらも拮抗して平静を保っている、そんな構造がよくわかる本です。 個人的には、「被自殺」などのネットスラングのくだりが面白かった。 中国版新幹線が政権のスローガンから「和諧号」と呼ばれているのを知っていましたが、「被和諧」（和諧された）なんて表現もあるんですね。 ネット住民の気質は案外世界どこでも変わらないんだあ、と。			
	全部	219P (75分)		2013/07/28 21:41:30
こだま ☆☆☆☆	中国はむずかしい。とだけです。難しいというかひねくれていてメンドクさいの方が近いかもしれません。			
	全て	209P (120分)		2013/07/26 22:37:23
pinpon ☆☆☆☆	中国の政治体制が続いているのは経済が成長しているからであるとしたら、経済成長は停滞し始めた時中国はどう変わるのだろうか。			
	全部	199P (90分)	164-199	2013/07/03 19:50:35

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

マルメロ ☆☆☆	中国の行動に対して、どうしてこうするんだ！！と思っていたことが少し解消されました。自分のイメージも結構偏っていたんだなと反省です。		
	全て	219P (120分)	2013/06/27 23:52:53
蛭田 ☆☆☆	個人的には最初の方は結構楽しめた。 なにしろ自分の知らない中国のネット事情について事細かに書かれていて、いかに自分が偏った知識を持っていたかを思い知った。 ただ、読み進むにつれてちょっと退屈にはなってしまったが・・・		
	全部	219P (180分)	2013/06/13 15:32:20
みね ☆☆☆	なかなか好い感じとと思っている、 筆者はけっこう中国通だ		
	1-219	219P (60分)	2013/06/04 20:29:54
PON ☆☆☆☆☆	中国のネット事情、中国政府がネットにどう対応していったのかがまとめられている。ほとんど接点のなかった話なので、興味深かった。 そのようなまじめな話だけでなく、検閲などの言論統制へのネットスラングといった話もあり面白かった。		
	全部	209P (210分)	4章 2013/05/28 00:39:53
vecky ☆☆☆	パラパラパラと読みました。 中国に興味もなく、ましてやインターネットが広がる世界の事情などにも興味がなくても、現代の日本の大学生ならば教養という意味で読むのが妥当。		
	全部	219P (60分)	特になし 2013/05/17 13:26:06
曦 ☆☆	三連休の前に教室の後ろに置いた本がすぐなくなりました。そしてこの誰も取らなかった本を借りました。 内容について、中国人としてはつまらなかったです。データと事件にめぐって話していましたが、視点が見えなかった。 しかし、作者は中国語をよく知っていますので、中国の流行語の意味もよく理解できて、中国あるいは中国語に興味を持つ人にはお勧めです。		
	第一章、二章の前半	30P (60分)	17-20 ページ 2013/04/29 18:01:33

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

サイバー・テロ 日米vs.中国

著者名	土屋大洋	発行年	2012年
出版社名	文春新書	ページ数	230ページ
値段	770円	ISBN	978-4166608782
コメント	戦の前に忍びを放って人心攪乱戦術。そうざっくりまとめると、やってることは昔っから変わらないねとなるのですが、攻撃の手口が、へえそんなことまでできるんだと、びっくりすることばかり。 今日の中央官庁ではわざとファイル付きメールを送りつけて、まさか開いたりしないよねっ！なんていう「軍事訓練」もやってるんですね。で10%の官僚が開いちゃうって、ダメじゃん。 最新事例でんこもりなので、どのページから入っても、ちょっとした情報通になれます。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
フラン ☆☆☆	見えない所でじわじわと侵食されているっていうのが、サイバー世界なんだよなあ。と再確認。 例の一連の誤認逮捕件でも明らかのように、私のPCが攻撃の足がかりになってしまうという危険性を考えて行動しなければならないのかもしれない。あくまで個人で出来る範囲などたかが知れているが何もしないよりはマシだろう。			
	奇数章だけ読んでいたので、特段あまりかぶっている印象はなかった。			
	なお、7章(191-214)みたいなシュミレーションしてみるの意外と面白いかと思います。特にソフト面・ハード面からどの順番で攻撃をかけるか、起動させるかというのは考えていて飽きない			
	21-41 83-117 141-164 191-214	104P (90分)	191-214	2013/07/22 10:17:53
いわし ☆☆☆☆	サイバー攻撃が戦争に利用されるという事態になると、そのまま放っておくわけにはいかないなあと思いました。情報セキュリティへの危機感が高まりました。			
	2-42, 166-189	65P (45分)	22-25	2013/07/10 17:57:32
マルメロ ☆☆☆	アメリカでも問題になっていることもありインターネットについてももう少し勉強しなくてはと思って読みました。 ここからHow toが学べるわけではないですが、現実を知る教材としては適していたと思います。			
	1.2.3章	100P (60分)		2013/07/08 00:36:01
	今後の戦争は、人が大量に殺されることのない戦争が起こるのかもしれないのだなと。テレビで最近よく耳にする、個人情報の流出のニュース。何気なく書いていたけれど、これも一種のテロ行為			

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

candy ☆☆	だったと考えると怖い。日本のサイバー攻撃に対する対策がとても気になった。		
	1-203	203P (100分)	2013/05/14 08:35:59

neueziel ☆☆☆	サイバー戦争って今こうなっているとハワイに通る海底ケーブルの切断方法とか知ることはできるんですが、作者も言っているように同じ事が何度も繰り返し言われてくどかった。		
	1-230	230P (230分)	2013/05/11 19:01:38

[TOP](#) ^

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

サハラ、砂漠の回廊

著者名	野町和嘉	発行年	2010年
出版社名	新潮社	ページ数	119ページ
値段	3,400円	ISBN	978-4104025039
コメント	タッシリ・ナジュール、サハラ砂漠の最深部。 忘れないでほしい。ここはかつて、水ゆたかに溢れ、カバやワニが悠然と泳ぎ、人びとが白黒まだらの牛を飼って暮らした恵みの地であったことを。祭りの日には仮面を付けてみんなで踊り、祈りの時には両手を掲げて白い巨人を遙拝した繁栄の地であったことを。 エジプトに文明が栄えるずっとずっと昔。紀元前七千年から八千年間もの永き時を描き継がれてきたという岩窟の砂絵。不思議な乳房の描き方に見入りつつ、古代びとの呼び声に耳を澄ませます。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
14 ☆☆☆	サハラ砂漠の特徴的な地形、先人の生活の様子を知る壁画等の写真がたくさん載っている。なかなか目にする物ではないため、一見の価値あり。			
	全て	120P (100分)		2013/07/30 14:00:52
quench ☆☆☆☆	名前は聞いたことはあっても、サハラ砂漠を写真や映像で見たことはほとんどなかった。過去の自然や文化の壮大さに触れることで、サハラ砂漠を冒険したような気分になりました。			
	全部	119P (30分)		2013/05/29 14:19:06
0120086144 ☆☆☆	あまりページの概念に意味はないタイプの本です。 バラバラめくっていただければいい。今では貧困の代名詞のように言われるサハラ砂漠の周辺がかつて栄えていた証明となる写真を見られる。地球温暖化なんてなくても気候はこんなに変化します。地球さんは人間の想像力の斜め上を行く地力があることを見せつけます。			
	1-119	119P (45分)	適当に	2013/05/13 19:40:44

[TOP](#) ^

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィール

掲示板